

ちよこつと救急の話・・・ 知っていますか？



マイナ救急



マイナ救急とは・・・救急隊がマイナ保険証を活用して、傷病者の通院履歴や服薬情報などを正確かつ早期に把握することにより、救急活動の迅速化・円滑化を図る取り組みです。



この事業は、総務省消防庁所管で行っており、令和7年10月1日から全国すべての消防本部で実施されています。

マイナ救急の流れ



マイナ保険証から 得られる情報の一例



【鹿児島市消防局 救急に関する情報】



こんな時、マイナ保険証を活用すると便利！

- ・症状がつかなくて救急隊に情報を伝えられないとき
- ・家族等が傷病者の医療情報等を覚えていないとき



二次元コード
【市ホームページ】

火災の原因はさまざまですが、その背景には共通する要因があります。そのひとつが「安全の思い込み」です。火災に遭われた多くの方が「これまでは大丈夫だった」と話します。人は過去の経験から、今まで問題なかった行動を続けても安全だと考えがちです。しかし、この心理的な油断こそが危険を見逃す要因となります。

例えば、長年使用している電気製品やコード類を点検・交換せず、使い続ける、ストーブの近くに洗濯物を干す、こんろの火を点けたままその場を離れるなど、こうした日常のほんの小さな行動や一瞬の油断が、火災を招き、取り返しつかない被害につながります。

「これまで問題がなかった」からといって、これからは安全とは限りません。大切なのは、常に『本当に大丈夫か』と自分に問い続けることです。確認を重ねることこそ、命や大切なものを守る確かな方法です。今一度、ご家庭における防火チェックをしていただきますようお願いいたします。



鹿児島市消防局
西消防署長 東 純一

『安全の思い込みを見直しませんか』

この地域では、日頃から住民同士が声を掛け合い、どこの家にはどういう人が住んでいるか把握していたことが適切な避難行動につながり、人的な被害を最小限に抑えられた要因と言われています。まさに「共助」が発揮された事例です。私たち自身と大切な家族、そして地域の未来を守るために地域防災の要である防火協力会の皆様の取り組みが重要となります。これからも互いに連携し、火災の無い街を作って行きましょう。



鹿児島市消防局
中央消防署長 前田 武史

『地域を守るために火の用心』

空気が乾燥するこの時期は、火災が発生しやすく、ひとたび火の手が上がれば、瞬間に尊い命や大切な財産を奪ってしまいます。

令和7年11月に発生した大分市佐賀関の大規模火災では「共助」によって多くの命が救われました。この火災は強風の影響もあって火の勢いが強かったことから、次々と近隣の住宅へ燃え広がり、一晩中燃え続け、180棟余りの住宅が焼け落ちてしまいました。

